

## 中学部 作業学習指導案（窯業グループ）

### 1. 単元名「バザーに向けて花びんや皿を作ろう」

#### 2. 指導についての考え方

##### （1）生徒の実態

本年度の窯業グループは、1年生男子○名女子○名、2年生男子○名女子○名、3年生男子○名女子○名の計○○名で構成されている。生徒は、①作業の手順を覚え、ほとんどの作業を最低限の指示や支援で行うことができる生徒、②手順ごと、または特定の作業等に対して、教師の指示や支援が必要な生徒、③作業場所にスムーズに入ったり、決められた作業に教師や友達と一緒に取り組んだりすることが難しい生徒、など様々である。いずれの生徒も、窯業の作業を繰り返し体験し、製作を重ねることで、年度当初に比べ、作業に取り組む意欲や製作の技能の高まりが見られるようになってきている。また、徐々にではあるが、道具の準備や後かたづけなどに、自分から取り組もうとする姿も見られるようになってきた。

##### （2）単元設定の理由

窯業の工程は、粘土で形を作る「成形」→乾燥したものを焼く「素焼き」→「撥水剤塗り」→素焼きの上に釉薬をかける「施釉」→「本焼き」などからなる。これらの工程は、生徒の指示理解の状況や手指の巧緻性などの実態に応じて教師が適切な指導・支援を行うことにより、生徒が主体的に取り組むことが可能である。また、毎時間同じ作業を行うわけではないが、一連の作業に繰り返し取り組むことで、生徒が道具の使い方や工程を理解し、持続力、集中力など、自立して生きるための力を身につけることができるとともに、ものづくりの楽しさを味わうことができると考える。さらに、粘土が持つ柔らかくて加工しやすく、手にも馴染みやすい特性から、製品の形状等に生徒の個性や独自性を生かした創意工夫が凝らしやすい。加えて焼き上がりの感触に温かみを感じることができ、「焼く」という工程によって製品に大きな変化があることで、常に新しい発見や驚き、製品を完成させたときの喜びを感じることができると考える。

本単元では、バザーに向けて花びんや皿を作る活動を設定している。身近に使用できる製品に生徒は関心を示し、「お菓子を入れる」、「花を入れる」など、用途を考えて制作に取り組む姿も見られる。ひび割れ、水漏れ等のある製品は実際に使用することができないため、バザーの「商品」として、きれいに、丁寧につくろうと、生徒はより意欲的に作業に取り組むことができると考える。また、実際に一般の人に買ってもらい、使って喜ばれたりほめられたりすることで、達成感を味わうこともできると考える。

##### （3）指導にあたって

生徒が、作業に見通しを持ち、自主的に取り組むことができるよう、支援を行う。

##### ○教材教具の工夫

・生徒の実態に応じた作業内容、工程、補助具等の工夫。

##### ○場の工夫

・生徒が落ち着いて作業に取り組めるような座席、道具等の配置。

##### ○教師の関わりの工夫

・教師も共に作業しながら、必要に応じて支援を行う。

### 3. 単元目標

- ・作業手順を覚え、使用する道具の適切な取り扱い方を身につける。
- ・集中して作業に取り組み、継続して活動する。
- ・物を作る喜びを味わい、働くことに関心を持つ。

#### 4. 生徒の実態と、個別の目標

	A (○年 男)	B (○年 男)	C (○年 男)
個別の指導計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 見通しを持って、意欲的に作業をすることができるようになる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 時間いっぱい作業に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 教師の指示が無くてもカードの手順に沿って作業を進めることができる。</li> <li>● 一つの工程を完全にやり終えてから「できました」の報告をする。</li> </ul>
単元にかかわる実態	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 終了報告ができず、同じ作業を続けていたり、指示待ちの状態になったりする。</li> <li>● めん棒や切り針を使って粘土に穴を開けようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 手っ取り早く作業を済ませようとする。</li> <li>● 皿が割れるぐらい力を入れて作業する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 指示されなくても道具の準備ができる。</li> <li>● 作業工程のカードを見て、見通しを持って作業ができる。</li> <li>● 一つの工程を完全にやり終えないうちに「できました」の報告をすることが多い。</li> </ul>
単元における目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 手順カードを提示することで、見通しを持って意欲的に作業をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 作業に取り組める時間を延ばす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 少ない支援で作品を作り上げることができる。</li> <li>● 一つの工程を完全にやり終えてから終了報告ができ、困ったときに質問ができるようになる。</li> </ul>
支援の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 見通しを持って活動できるようにすること、また、少ない声かけで活動できるように手順カードを提示する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● めん棒に手を添えて伸ばすスピード、力加減が一定になるように導く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 一つの工程を完全にやり終えてから次の手順カードを出して、その工程が終わったことを知らせる。</li> </ul>

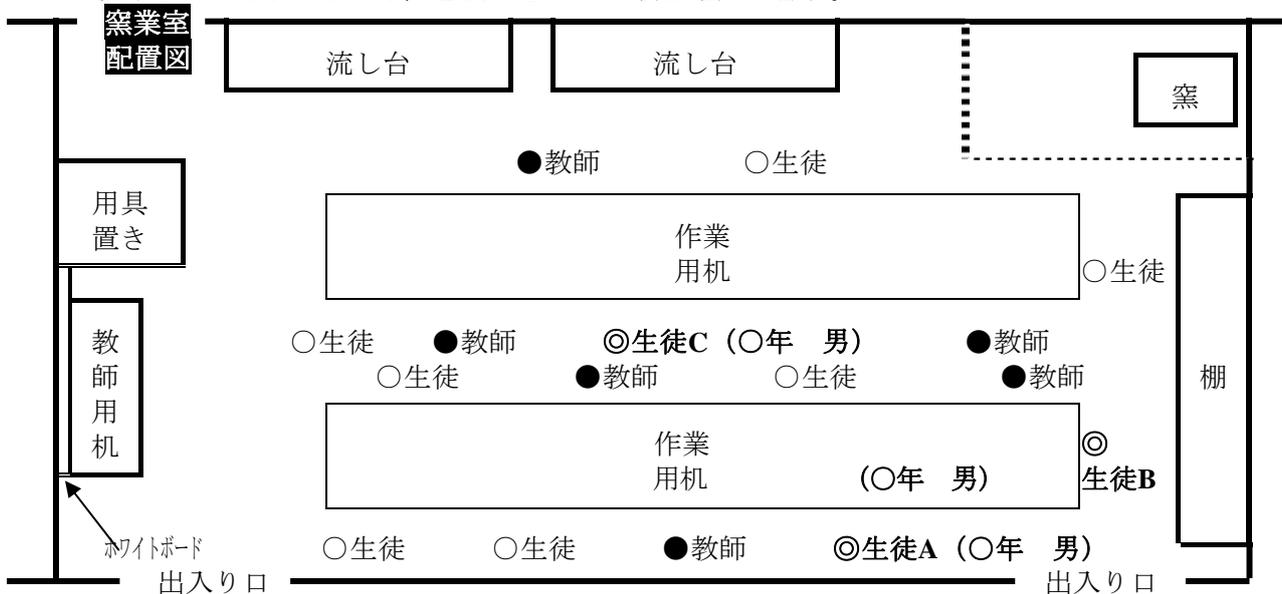
5. 指導計画 . . . . . 計 52 時間

月	単 元	主な活動内容
4 ～5 6 ～11	粘土に慣れよう バザーに向けて、花びんや皿 を作ろう 本時 (18 / 26)	教師とともに、マグカップを作る。 →粘土になれるとともに、基本となる制作手順を覚える。 (皿) 板づくりによる成形→化粧土かけ→描画 →素焼き→研磨→撥水剤塗り→施釉→本焼き (花びん) 板づくりによる成形→素焼き→研磨→撥水剤塗り →施釉→本焼き
11 ～12	バザーの準備をしよう バザーで販売しよう	販売準備 (値札付け, シール貼り等) 販売練習 (製品の手渡し, 金銭の授受, 挨拶等)

6. 本時について

(1) 教室環境

- ・落ち着いて作業に取り組めるよう、必要な環境整備 (座席の配置を含む) を行う。
- ・生徒にあわせた作業内容, 工程, 補助具の工夫を行う。
- ・教師も共に活動しながら, 必要に応じて手順を確認し合う。



(2) 準備

粘土, 粘土板, 粘土べら, どべ, 化粧土, 焼成後の見本 (化粧土の色確認用), 筆, エプロン, めん棒, たたら板, 皿の型, ぬらした布, 準備する道具のカード, 手順カード

(3) 本時の目標

- ・本時の作業に対して見通しを持ち, 進んで活動しようとする。
- ・集中して丁寧に作業に取り組む。
- ・皿づくりの楽しさを味わう。

(4) 展開 A (〇年 男)

学習内容・活動	A (〇年 男) 本時の目標 (評価の観点)
<p>5校時</p> <p>○ はじめのあいさつ</p>	<p>● 手順カードを見て、意欲的に作業ができるようになる。</p>
<p>○ 道具の準備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自主的に道具の準備を行う。</li> </ul>	<p>A (〇年 男) についての 支援の工夫</p> <p>▶ 用具の準備ができていないときは、声かけや手順カードを提示する。</p>
<p>○ 本時活動内容の確認</p> <p>〔板づくりによる皿の成形 化粧土かけ〕</p>	<p>▶ 本時の活動に見通しをもって取り組むことができるように手順カードを提示する。</p>
<p>○ 皿の成形</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 粘土をたたいて平らにする。</li> <li>・ たたら板とめん棒で粘土を板状に伸ばす。</li> <li>・ 皿の型 (ボウル, 皿等) に濡らした布を置き, 伸ばした粘土を置く。</li> <li>・ 砂袋で粘土を叩いて締め, 皿を成形する。</li> <li>・ はみ出た縁の部分を切り針で切り取る。</li> <li>・ へら等を使って皿の縁をきれいに仕上げる。</li> </ul>	<p>▶ 粘土が粘土板につかないようにするために, 粘土板の上に布を被せて伸ばすようにする。</p> <p>▶ 粘土を均等に伸ばすことができるように, 裏返ししながら粘土を伸ばすように声かけをする。</p> <p>▶ 砂袋で粘土を叩きすぎないように, 叩く回数を決めて皿を成形する。</p> <p>▶ 粘土に穴を開けないように声かけをする。</p>
<p>○ 化粧土かけ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 黄, 水色, 黄緑, 白の化粧土から, 自分で色を選択する。</li> <li>・ 筆を使って, 皿に化粧土をかける。</li> </ul>	<p>▶ 一つの工程が終わり「できました」の報告で, 教師が確認し, 完全にやり終えてから, 次の手順カードを提示する。</p>
<p>○ 後片づけ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 成形した皿を所定の場所に置く。</li> <li>・ 使った道具を洗い, 決められた場所に片付ける。</li> <li>・ 作業机, 床を清掃する。</li> </ul>	<p>▶ 四色の化粧土を見せ, 選択しやすいようにする。</p> <p>▶ 化粧土の塗りむらがあれば再度塗るように指示する。</p>
<p>○ 本時の振り返りと次時の活動の確認</p>	<p>▶ 使った道具の片付けや, 作業台を拭くように声かけをする。</p>
<p>○ おわりのあいさつ</p>	



(4) 展開 B (〇年 男)

学習内容・活動	B (〇年 男) 本時の目標 (評価の観点)
5校時 ○ はじめのあいさつ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 粘土を落ち着いて伸ばす。</li> <li>● 時間いっぱい作業に参加する。</li> </ul>
	B (〇年 男) についての 支援の工夫
○ 道具の準備 ・ 自主的に道具の準備を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 用具のセットができたことを確認する。 できていれば「Good!」と声をかけ、できていなければ ①言葉で指示 ②図を見せて確認する。</li> </ul>
○ 本時活動内容の確認 [ 板づくりによる皿の成形 ] [ 化粧土かけ ]	
○ 皿の成形 ・ 粘土をたたいて平らにする。 ・ たたら板とめん棒で粘土を板状に伸ばす。 ・ 皿の型 (ボウル, 皿等) に濡らした布を置き, 伸ばした粘土を置く。 ・ 砂袋で粘土を叩いて締め, 皿を成形する。 ・ はみ出た縁の部分を切り針で切り取る。 ・ へら等を使って皿の縁をきれいに仕上げる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 「ゆっくり粘土を伸ばそう」と声をかける。</li> <li>▶ めん棒に手を添えてスピードと力加減が一定になるように導く。</li> <li>▶ 粘土が手につくと気にするので, つかないように粘土の上に薄布を被せる。</li> <li>▶ 十分に粘土を伸ばしたことを確認して皿の形の丸いベニヤ板をのせて, 針と一緒に切る。周囲の余り粘土を丁寧にのぞくように促す。</li> <li>▶ ベニヤ板をはずして敷いた布を持って皿の型と一緒にはめる。</li> <li>▶ 筆先を使ってゆっくり化粧土を一緒にぬる。</li> </ul>
○ 化粧土かけ ・ 黄, 水色, 黄緑, 白の化粧土から, 自分で色を選択する。 ・ 筆を使って, 皿に化粧土をかける。	
○ 後片づけ ・ 成形した皿を所定の場所に置く。 ・ 使った道具を洗い, 決められた場所に片付ける。 ・ 作業机, 床を清掃する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 片づけが終わったら, 席について落ち着いて待つように寄り添う。</li> </ul>
○ 本時の振り返りと次時の活動の確認	
○ おわりのあいさつ	

(4) 展開 C (〇年 男)

学習内容・活動	C (〇年 男) 本時の目標 (評価の観点)
<p>5校時</p> <p>○ はじめのあいさつ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 教師の指示が無くてもカードの手順に沿って作業を進め、一つの工程を完全にやり終えてから「できました」の報告ができるようになる。</li> </ul>
<p>○ 道具の準備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自主的に道具の準備を行う。</li> </ul>	<p>C (〇年 男) についての 支援の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 準備する道具を示したシンボルカードを黒板に掲示し、道具の置き場所にも同じカードを掲示して視覚的に確認できるようにする。</li> </ul>
<p>○ 本時活動内容の確認</p> <p>〔板づくりによる皿の成形〕 化粧土かけ</p>	<p>▶ 準備する道具を示したシンボルカードを黒板に掲示し、道具の置き場所にも同じカードを掲示して視覚的に確認できるようにする。</p>
<p>○ 皿の成形</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 粘土をたたいて平らにする。</li> <li>・ たたら板とめん棒で粘土を板状に伸ばす。</li> <li>・ 皿の型（ボウル、皿等）に濡らした布を置き、伸ばした粘土を置く。</li> <li>・ 砂袋で粘土を叩いて締め、皿を成形する。</li> <li>・ はみ出た縁の部分を切り針で切り取る。</li> <li>・ へら等を使って皿の縁をきれいに仕上げる。</li> </ul>	<p>▶ 作業手順を示したカードを掲示し、視覚的に活動内容を把握できるようにする。</p> <p>▶ 一つの工程が終わり「できました」の報告で、教師が確認し、完全にやり終えてから、次の手順カードを掲示する。</p>
<p>○ 化粧土かけ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 黄、水色、黄緑、白の化粧土から、自分で色を選択する。</li> <li>・ 筆を使って、皿に化粧土をかける。</li> </ul>	<p>▶ 作業手順を示したカードを掲示し、視覚的に活動内容を把握できるようにする。</p> <p>▶ 一つの工程が終わり「できました」の報告で、教師が確認し、完全にやり終えてから、次の手順カードを掲示する。</p>
<p>○ 後片づけ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 成形した皿を所定の場所に置く。</li> <li>・ 使った道具を洗い、決められた場所に片付ける。</li> <li>・ 作業机、床を清掃する。</li> </ul>	<p>▶ 作業手順を示したカードを掲示し、視覚的に活動内容を把握できるようにする。</p> <p>▶ 一つの工程が終わり「できました」の報告で、教師が確認し、完全にやり終えてから、次の手順カードを掲示する。</p>
<p>○ 本時の振り返りと次時の活動の確認</p>	<p>▶ 作業手順を示したカードを掲示し、視覚的に活動内容を把握できるようにする。</p> <p>▶ 一つの工程が終わり「できました」の報告で、教師が確認し、完全にやり終えてから、次の手順カードを掲示する。</p>
<p>○ おわりのあいさつ</p>	<p>▶ 作業手順を示したカードを掲示し、視覚的に活動内容を把握できるようにする。</p> <p>▶ 一つの工程が終わり「できました」の報告で、教師が確認し、完全にやり終えてから、次の手順カードを掲示する。</p>

